

9月9日は救急の日

救急医療週間 9月6日～12日

9月9日は「救急の日」です。北見地区消防組合消防署訓子府支署では、皆さんに救急業務の理解を深めていただき、応急手当ての普及・啓発を図る活動を行っています。

昨年の救急出動 216 件

訓子府支署では、迅速な出動など救急活動に全力を挙げていますが、119番通報を受けてから現場到着までの所要時間は平均で7.7分（訓子府町平成26年平均値）となっています。

病気やけがにより、突然に心肺停止もしくはそれに近い状態になった場合、いかに早く救急蘇生法を行うかが、救命に大きく影響します。救命率を上げるには、そこに居合わせた方の迅速な通報、救急蘇生法が大切になります。大切な命を救うためにも、知識や技術を身に付けましょう。

◆こんな使い方はやめましょう◆

- 救急車をタクシー代わりに利用する
- 昼間は病院が混んでいるので、時間外に受診するために救急車を呼ぶ

◆救急車が走行しているときは◆

- 救急車が自分の車に近付いてきたときは、左側に寄って救急車に進路を譲ってください
- 傷病者の家族の方などは、救急車を追走しないでください

応急手当法の講習会

職場や地域などでの応急手当てやAED使用方法などの講習会の問い合わせは、消防署訓子府支署（☎47-2419）へ。

危険物取扱者・消防設備士試験

■とき 11月1日(日)

■ところ 北見工業大学（北見市）

■種類 両試験共通全種類

■受付期間

○書面申請 9月16日(水)～9月28日(月)

○電子申請 9月13日(日)～9月25日(金)

危険物取扱者試験準備講習会

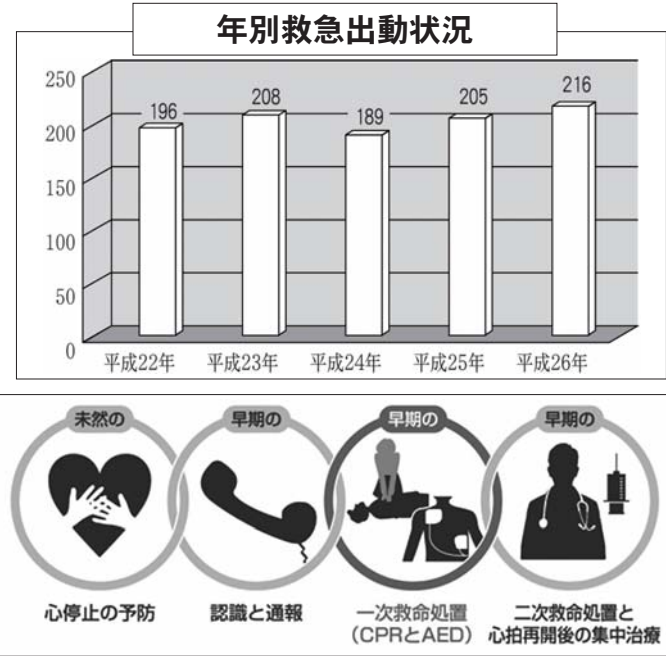
■とき 10月1日(木)・2日(金)

■ところ オホーツク木のプラザ（北見市）

■受付期間 9月24日(木)

■問合せ 消防署訓子府支署（☎47-2419）

大切な命を救うために



↑【救命の連鎖】事故現場などに居合わせた住民と救急隊員、そして医師の連携で命を救うことが「救命の連鎖」です。上の図左から3つの輪が住民が迅速に行うことを示し、右端の輪は救急から引き継いだ病院内の処置を示しています。



安全・安心なまちづくり 「自助・共助・公助」の連携へ

町全体で被害を最小限に

9月1日は「防災の日」です。地震や台風などの自然災害の被害を最小限に食い止めるため、日常の備えの大切さを再認識する日です。

東日本大震災発生以来、日本の防災対策が見直されています。訓子府町でもさまざまな課題を少しずつ解決しながら、自助・共助・公助の連携づくりに努めていきます。

10月11日には、全町的な町民参加型の総合防災訓練（シェイクアウト）を実施します。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

※シェイクアウトとは
地震を想定した訓練で、サイレンなどの地震発生の場合とともに、家庭や会社で約1分間机の下に避難するなど、身を守る安全行動をとる訓練です。

地域の力結集し、防災・減災を

防災・減災のためには、防災関係機関の迅速な活動だけではなく、地域の皆さん一人ひとりの普段の心がまえや備えが大切です。

地域の力を結集し、防災・減災対策に取り組む「自助・共助」の動きを拡大し、町などの防災対策である「公助」と連携していくことも重要です。災害からみんなを身を守るという意識を普段から持ちましょう。

もし、災害が起こった場合は、慌てず冷静に対応することです。「自助」は、自分の安全を確保すること、「共助」は、身近所の安全確認や避難所へ一緒に行動することを第一に考えることです。

「自主防災」＝「地域ぐるみの協力」

自主防災組織は、災害によって交通網が寸断したり、火災などにより消防や警察などの防災機関が十分な対応ができないときに、地域のことは地域で守るという「地域ぐるみの協力体制」のことを言います。

災害の規模が大きくなればなるほど地域の防災機関がすべて災害現場に向かうことが難しくなるため、避難行動などを地域ぐるみで行うことが大切です。

10月11日(日)にシェイクアウトを実施します

今年の総合防災訓練は、シェイクアウト形式の避難訓練を計画しています。訓練内容など、詳細は10月号広報で紹介しますが、防災意識高揚のため、防災訓練に皆さんの参加をお願いします。

○訓練内容

- ・9時30分に地震発生合図のサイレンを吹鳴します。
- ・サイレンが聞こえたら、9時30分から1分間、机の下などに避難し、身を守る安全行動をとってください。
- ・安全確認後、非常用持出品を用意するなど、避難準備の訓練をしましょう。

日常の備え確認を

- 日常の備え
- ① 非常食や懐中電灯など非常持出品の点検をする
- ② 3日分程度の食料・飲料水を備える
- ③ 家の内外で危険な場所がないか確認しておく
- ④ 災害時の避難経路、避難場所を家族で確認しておく
- 災害時の対応
- ① 正確な情報収集と早めの行動をとる
- ② 避難の呼びかけに注意する
- ③ 動きやすい格好、二人以上で避難する
- ④ 車での避難は控える
- ⑤ 道路や堤防などに車を放置しない